

江刺保育園

聖誕劇

Christmas Pageant



2015年





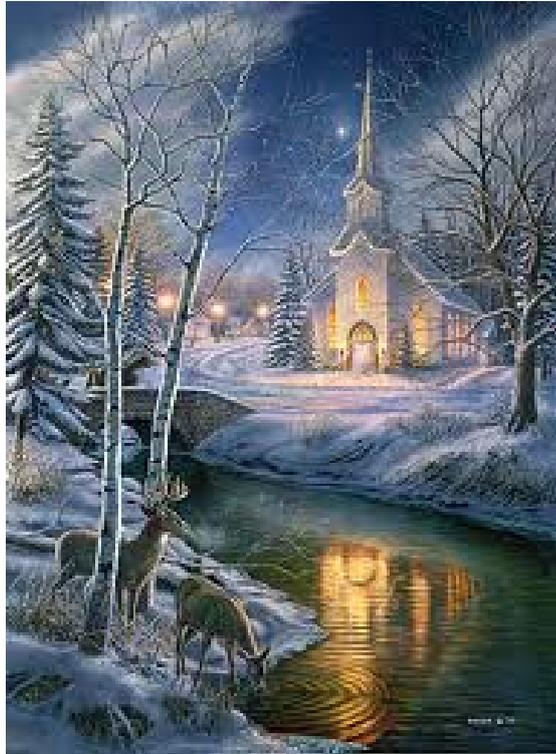
Christmas Pageant

聖誕劇



登場人物

マリヤ		羊飼い 1	
ヨセフ		羊飼い 2	
		羊飼い 3	
天使 1		羊飼い 4	
天使 2		羊飼い 5	
天使 3		羊飼い 6	
天使 4			
天使 5		宿屋 1	
天使 6		宿屋 2	
天使 7			
		博士 A	
		博士 B	
かたりにて 1 ピアノ		博士 C	
かたりにて 2 ピアノ			
かたりにて 3 ピアノ			



第1場面

かたりて1	<p>はじめに言葉があった。言葉は神と共にあった。言葉は神であった。 言葉の内に命があった。命は人間を照らす光であった。暗やみの中 を歩く人々よ。大いなる光をごらんください。死の陰の地にすむ人々 よ。あなたがたの上に光が照り輝くのです。すべての人を照らす、 まことの光が、この世にこられます。</p>
かたりて2	<p>わたしたち「すみれ組」が演じるこの物語は、聖書に書かれている、 イエス様のお誕生の様子です。この劇はクリスマスの出来事を喜び、 感謝し、賛美する礼拝なのです。</p>
かたりて3	<p>今から2013年前、イスラエルのナザレという村にマリヤさんという女 の人がいました。マリヤさんは、ヨセフさんと結婚の約束をしていまし た。しかし、突然に身ごもってしまったのです。ヨセフさんの夢の中 に天使が現れ、マリヤさんが神様によって救い主を生むことが告 げられました。また、マリヤさんの前にも、おおぜいの天使が、現れた のです。</p>
てんし1	マリヤよ、おめでとう。
てんし2	あなたに、かみさまの、おことばをつたえます。
てんし3	あなたは、もうすぐおとこのこをうむでしょう。
マリヤ	わたしには結婚を約束した大切な人がいるのです。 そのようなことは許されないことです。
くびを横に振り、戸惑いながら	
てんし4	うまれてくるあかちゃんは、かみさまのこどもです。
てんし5	なにもしんぱいすることはありません。
マリヤ	いったい、わたしはなにをすればいいのでしょうか。 ヨセフはわたしをゆるしてくれるのでしょうか。
てんし6	ヨセフはすべてをうけいれています。 すべてをかみさまにまかせなさい。
てんし7	あんしんしなさい。
てんし1	うまれるこのなまえをイエスとなづけなさい。
すこし、考えて(間を置く) 立ち上がり、会衆に向かってゆっくり礼をして話す。	
マリヤ	はい、わかりました。かみさまにすべてをおまかせします。 かみさまの、おかんがえのとおりにしてください。



幕

第2場面

かたりて1	<p>そのころ、ユダヤの国<small>くに</small>では、じぶんの<small>う</small>生まれた<small>ところ</small>所<small>ゆ</small>に行き、名前<small>なまえ</small>を登録<small>とうろく</small>しなさいという王様<small>おおさま</small>からの命令<small>めいれい</small>がありました。たくさんの人<small>ひと</small>たちが、生まれた<small>う</small>ふるさとに行<small>い</small>かなければなりません。</p>
かたりて2	<p>マリヤさんとヨセフさんも同じ<small>おな</small>ように旅<small>たび</small>をしていました。その旅<small>たび</small>の途<small>とちゆう</small>中<small>ちゆう</small>にあるベツレヘムという町<small>まち</small>に着<small>つ</small>きました。あたりはすっかりくらくら<small>よる</small>になり夜<small>よる</small>になっていました。</p>
かたりて3	<p>宿屋<small>やどや</small>はどこも旅人<small>たびびと</small>で満員<small>まんいん</small>でした。でもマリヤさんは天使<small>てんし</small>のお告<small>つ</small>げのとお<small>あか</small>り、もうすぐ赤<small>あか</small>ちゃんが<small>う</small>生まれそう<small>う</small>になっていたのです。</p>
マリヤ	まあ、たくさんのひとたちですね。
ヨセフ	いろいろなまちやむらからきたんだね。
マリヤ	こんや、とまるところがあるでしょうか。
ヨセフ	しんぱいしないで。どこか、やどをさがしますから。

手をつなぎ、幕の外にでる

ヨセフ	こんばんは、こんばんは。
宿屋1	はい、どなたですか。
ヨセフ	こんやひとばん、とめてください。
宿屋1	きのうも、きょうも、たびびとでいっぱいです。ひとへやもありません。べつのところをきいてください。
ヨセフ	こんばんは、こんばんは。
宿屋2	はい、どなたですか。
ヨセフ	もうすぐ、こどもがうまれそうなのです。こんやひとばん、どこでもいいですから、とめていただけませんか。
宿屋2	それはたいへんそうですね。おきゃくさまのとまるへやでないのですが、うまごやでもよければあがってください。
ヨセフ	たすかりました。ありがとうございます。
宿屋2	こっちです、ついてきてください。

賛美歌「おとまりください」 ピアノ伴奏：かたりて1

幕



第3場面

かたりて2	<p>そのころ、ベツレヘムの町外れにある山の草原では、 <small>ひつじか</small> 羊飼いたちが、<small>よる</small> 夜も<small>ね</small> 寝ないで<small>ひつじ</small> 羊の<small>ばん</small> 番をしていました。</p>	
羊飼い全員 火をかこみ座っている。		
羊飼い1	しずかな、よるだなあ	
羊飼い2	くらい、よるだなあ	
羊飼い3	さむい、よるだね	
羊飼い4	こんなよるに、はたらいているのはわたしたちだけだね。	
羊飼い5	でも、こんやは、なにかがおこりそうだなあ。	
羊飼い6	おそろしいことは、いやだな。	
羊飼い2 立ち上がり、指差して言う		
羊飼い1	ひかるものがだんだんこっちにむかってくる。	
羊飼い全員 立ち上がる。横1列に並ぶ		
羊飼い全員	みんなにげよう。	揃えないで
天使登場		
1列に並ぶ。セリフを言う天使は手を上げ1歩前に出る。セリフを言ったら元の位置に戻る。		
てんし1	ひつじかいたち、こわがることは、ありません。	
てんし2	うれしい知らせです。よくおききなさい。	
てんし3	ダビデのまちベツレヘムに、ひとりのおとこのこがおうまれになりました。	
羊飼い1	ダビデのまちベツレヘムに	
天使全員、羊飼いを指さして		
てんし全員	あなたがた、みんなのために	揃えて
羊飼い2	みんなのために	1歩前に出る
てんし4	このあかちゃんこそ、すくいぬしイエス・キリストです。	星を掲げ1歩前に出る
羊飼い3	キリストがおうまれになった？	1歩前に出る
てんし5	あのひかりかがやくほしをめざしてゆきなさい。	星を掲げ1歩前に出る 指さして
羊飼い4	そこで、わたしたちのすくいぬしがうまれたんですね。	1歩前に出る
てんし6	そのこは、うまごやのなかでねむっています。	星を掲げ1歩前に出る
羊飼い5	どうして、そんなところでうまれたのですか。	1歩前に出る
てんし1	かみさまのころをしるために。	星を掲げ1歩前に出る
てんし3	くるしんでいるひとのために。	星を掲げ1歩前に出る
てんし4	このよが、へいわになるために。	星を掲げ1歩前に出る
てんし5	ひとびとがきぼうをもつために。	星を掲げ1歩前に出る
てんし6	ひとびとがしあわせになるために。	星を掲げ1歩前に出る
てんし7	みんなのために。	星を掲げ1歩前に出る
羊飼い6	はい、よくわかりました。	1歩前に出る
羊飼い1	さあ、おれたちも、いっしょにおいわいにいこう。	大きな声で
羊飼い全員	さあ、いこう。……いこう。	その場で

賛美歌 「そらには、てんしの…」 ピアノ伴奏：かたりて2

羊飼い…一回りして退場

幕

第4場面

かたりて1	<p>ひがし くに はかせ さんにん はな あ そのころ、東の国の博士たち三人が話し合っていました。</p>	
<p>博士Aは机の前に立って本を見ている。 博士B、博士Cは奥にある椅子に座っている。</p>		
博士A	せんせいがた、ちょっとここへきてごらんなさい。 ふしぎなことがありますよ。	
<p>博士たちが集まる。</p>		
博士B	なにか、みえるのですか。	
博士C	なんですか、いったい。	
博士A	ええ、ほら、あそこをごらんください。	指さす
博士B	かがやいているおおきなほしがみえます。	
博士C	なにかのしらせでしょうか。	
博士A	わたしは、あんなにひかっているおおきなほしをみたことがありません。	
博士B	わたしもです。あんなにおおきなほしが、きゆうにあらわれるなんて。	
博士C	さっそく、しらべてみましょう。	
<p>博士全員聖書をめくって調べる。</p>		
博士A	これだ、たしかにこれにちがいない。	
博士B	すくいぬしキリストが、おおきなひかりのもとに、うまれるとせいしよにかいてあります。	
博士C	ほしがおしえているのです。	
博士A	あのほしが、わたしたちを、すくいぬしのところへ、みちびいているのですね。	
博士全員	さあ、あのほしをめざして、すくいぬしにあいにいきましょう。	全員指さす
<p>賛美歌：「おほしがひかる」 ピアノ伴奏：かたりて3 ひとまわりして、たいじょう。</p>		

幕



第5場面

かたりて3	<p>ここは、ベツレヘムの馬小屋。うまれたばかりのイエス様が飼葉桶のなかで眠っています。</p>	
ヨセフ	マリヤ、なんてかわいいあかちゃんだろうね。	
マリヤ	ええ、ほんとうに	
ヨセフ	でも、なんてみすぼらしいところで、うまれたんだろう。なんという、みじめなゆりかごだろう。	
マリヤ	<p>ほんとうに。 でもこのこは、とてもやさしい、おだやかな、かおをしていますよ。</p>	抱き上げるゆっくりとおおきな声で
ヨセフ	なまえは、てんしのおつげのとおり、イエスとなづけよう。	
マリヤ	<p>イエスあなたは、これからどんなにけわしいみちをすすむのでしょうか。 かみさま、このこがひとびとのところに、しんこうと、きぼうと、あいを、あたえることができますように。 こころからおいのりします。</p>	ゆっくりとおおきな声で
<p>天使登場 羊飼い、博士登場(お祈りしてから並ぶ)</p>		
かたりて1	<p>こうして大きな星に導かれて、羊飼いたちや、はるばるやってきた東の国の博士たちは、ベツレヘムの馬小屋につくことができました。 三人の博士たちがそれぞれ持ってきたのは黄金、乳香、そして死んだ人の体につける薬 没薬でした。</p>	
かたりて2	<p>ここにいる赤ちゃんこそ、神の御子イエスさまなのです。でも、このお誕生をお祝いできたのは、羊飼いと、博士たちと、馬や牛そして羊だけでした。 このイエス様が、私たちに、神様を信じ、そして愛し合って生きることを、おしえてくださったのです。</p>	
かたりて3,	<p>イエス様は、いつまでも私たちの中に生きています。世界が平和になるように、私たちが幸せであるように、神様の祝福で世界中が満たされるように、心をひとつにしてお祈りしましょう。</p>	
かたりて全員	<p>さあ、みなさん、いっしょに心をこめてクリスマスの讃美歌「きよしこのよる」を歌いましょう。</p>	



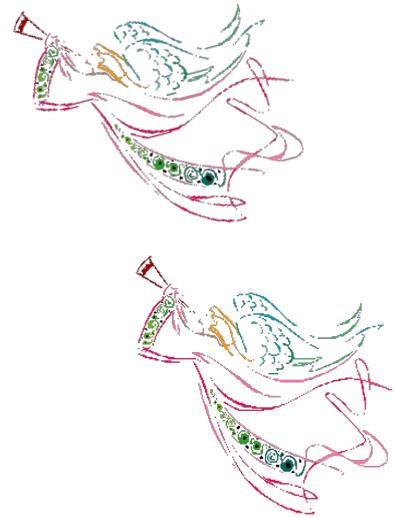
「きよしこのよる」

1. きよしこのよる ほしはひかり
すくいのみこは まぶねのなかに
ねむりたもう いとやすく
2. きよしこのよる みこのえみに
めぐみのみよの あしたのひかり
かがやけり ほがらかに



「そらにはてんしの」

1. そらにはてんしの うたごえひびく
すくいのみかみは ダビデのむらに
2. てんしのさんびは きよらにひびく
みかみにみさかえ ひとにはへいわ



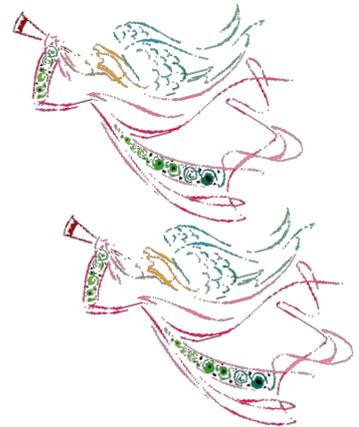
「おほしがひかる」

1. おほしがひかる ぴかぴか ふしぎにあかく ぴかぴか
なにがなにがあるのか おほしがひかる ぴかぴか
2. らくだがとおる かぽかぽ さばくのはらを かぽかぽ
どこへどこへいくのか らくだがとおる かぽかぽ
3. おほしがひかる ぴかぴか らくだがとおる かぽかぽ
そうだそうだこよいは めでたくきよいよるだよ



おとまりください

1. おとまりください ヨセフさん。
おやすみください マリアさん。
きれいなおへやじゃないけれど
かみさまがまもっておられます。
2. せかいのみんなが まっています。
おさなごイエスさま うまれます。
ほしのひかったふゆのよる
ユダヤのちいさなうまごやで。





社会福祉法人 江刺保育園

2015年度版 聖誕劇シナリオ

